

大地の魅力をみんなものに：北海道地質百選

Enjoy fair the fascinations of earth: Remarkable 100 geosites in Hokkaido

重野 聖之^{1*}, 田近 淳², 北海道地質百選検討グループ石井正之³

Kiyoyuki Shigeno^{1*}, Jun Tajika², Ishii Masayuki Hokkaido geosites examination group³

¹明治コンサルタント株式会社, ²北海道立地質研究所, ³北海道地質百選検討グループ

¹Meiji C., ²Geol. Surv. Hokkaido, ³Hokkaido geosites examina

●北海道地質百選

日本地質学会北海道支部が2008年から始めた北海道地質百選は、現在139のジオサイトがウェブで公開されている。 <<http://www.geosites-hokkaido.org/>>

これらのジオサイトは北海道14支庁の全てにわたっている。「知床半島中軸部の正断層と割れ目噴火口群」や「大夕張クリッペ」のような規模の大きなものから、「夕張の石炭大露頭「夕張二十四尺層」」や乙部町館の岬の「白亜の露頭」と言った露頭規模のものまで様々な規模のサイトがある。

カテゴリーは1) 学術的に重要な地質・地形, 2) 独特な景観を造る地形・地質, 3) 産業活動と地域生活, 4) その他の地質遺産, の4つに分けられていて、純粋地質的に貴重なものから地すべりのような人々の生活に関わるものまでを網羅しているほか、かつて繁栄した金属や石炭の鉱山跡も含まれている。

●2009年度の活動

百選の意義や、各ジオサイトの自慢話、そして活用策について考える、北海道地質百選シンポジウム「北海道の地質 魅力発見!」を開催した。

シンポジウムでは佃栄吉日本地質学会副会長に「日本の地質百選と北海道の地質の重要性」と題して基調講演をして頂いた。その後、それぞれの分野で膨大な資料を持っている12名の講演者の方に、自慢のジオサイトを10分という短時間で次々と紹介して頂いた。

シンポジウムでは幌満のかんらん岩体や巨大地震でできたバリアアイランド「春国岱(しゅんくにたい)」のような世界的に貴重な地形・地質等、改めて北海道の地質の魅力が浮き彫りとなった。北海道各地のジオサイト紹介では、北海道には貴重な地質があることを改めて実感することが出来ました。特に講演者より世界に誇る地質・地形・化石が北海道にあることが強調されたのも心強いことでした。同時に、開発により消えてしまう露頭をどのように保存するということに関して、会場の方から「防災をキーワードにして露頭などを保存できる」という貴重な意見を頂きました。今後このような意見を生かしながら活動を進めていくつもりです。

●今後の活動

現在、ウェブ上でリストアップされているジオサイトは約480箇所、ウェブ上で公開されているジオサイトは約30%である。このリスト自体がデータベースのインデックスになりうる。現在ウェブ上には様々な地学に関わるサイトやデータベース、博物館のウェブなどがある。これらのウェブサイトへリンクを張ることにより北海道の地質データのハブとして機能する可能性がある。

北海道の地形・地質の代表的なジオサイトを含む候補サイトが揃った段階で「北海道地質百選」としてジオサイトを選定し紙媒体で出版することにより多くの人に活用してもらえるようになるであろう。

キーワード:地質百選,北海道地質百選,北海道,露頭,地形,地質

Keywords: 100 Geosites, 100 geosites in Hokkaido, Hokkaido, outcrop, topography, geology